



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究室報
Citation	独語独文学科研究年報, 3, 97-99
Issue Date	1977-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/25493
Type	other
File Information	3_P97-99.pdf



研 究 室 報

授 業 題 目 (昭 和 5 1 年 度)

文 学 部

独 語 学 概 論		川 島 淳 夫
独 文 学 史 概 説		青 柳 謙 二
独 文 学 演 習	現代ドイツ文学講読	青 柳 謙 二
独 文 学 Ⅱ	前期J.Roth:Radetzkyarsch 後期G.Grass:Katz und Maus	U. Walberer
独 文 学 Ⅰ	19世紀Realismusの研究 C.F.Mayer: Der Heilige	新 妻 篤
独 文 学 Ⅰ	Grundbegriffe der Linguistik	H. Kempf
独 語 学 演 習	Faust 第一部	塩 谷 饒

大 学 院

(修 士 課 程)

独 語 学 特 殊 講 義	Vom Mhd. bis zum Frühhd.	塩 谷 饒
独 語 学 演 習	現代ドイツ文法理論	川 島 淳 夫
独 語 学 特 殊 講 義	Faust伝説 Novelle	H. Kempf
独 文 学 演 習	Methodenprobleme der deutschen Literaturwissenschaft	青 柳 謙 二
独 文 学 演 習	前期Hörspiel(W. Borchert) 後期Das dreissigste Jahr (Ingeborg Bachmann)	U. Walberer

(博 士 後 期 課 程)

独 語 学 特 殊 演 習		塩 谷 饒
独 文 学 特 殊 演 習		青 柳 謙 二

50年度卒業論文題目

学 部

川	東	雅	樹	……	「シュロップフェンシュタイン家」より
村	木		寛	……	ヘルダーリン「ヒュペーリオン」
菊	地	邦	章	……	ムシルの短篇「グリージャ」について—ある時代の生と現実
梅	津		真	……	フランツ・カフカの作品「判決」について
菅	原		年	……	ワイマル共和国時代の作家と文芸

大学院修士課程

神	久	聡	……	Modalität—Modalverbenについて
---	---	---	----	---------------------------

× × × × ×

「独語独文学科研究年報」 創刊号目次

FabelとMärchen	—ルターの場合—	塩	谷	饒
発話が不成功におわった場合の考察		植	木	迪子
デュレンマット氏の楽しや世界の砂遊び		高	橋	吉文
文芸学と方法論	—その流れとH・R・Jaus sの座標	三	浦	国泰

「独語独文学科研究年報」 第2号目次

カフカの作品における「現実」の問題	—カフカ解釈をめぐる諸説—	青	柳	謙二
否定と数量詞に関する—考察		佐	藤	俊一
現代小説と虚構性		瀬	川	修二
クライストの「ミヒャエル・コールハース」について		加	藤	寛蔵

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため下記の事業を行なう。
 - 1) 機関紙「独語独文学科研究年報」を毎年1回発行する。
 - 2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会員は北海道大学文学部独語・独文学研究室の教官・院生（学生も含む）ならびにその趣旨に賛同する者によって構成される。
5. 本会員は上の活動の遂行のため年額5,000円（教官は10,000円）の会費を支払う。
6. 本会は1名の会長と3名の幹事をおく、幹事は会計1名、編集委員2名とする。
7. 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。
8. 本会の事務所は北海道大学文学部独文研究室におく。